

ECAD®キャビスタ連携とは？

- ECAD®データをキャビスタにアップロードして作図ができるため、キャビスタ入力の時間短縮に繋がります。
- ECAD®シリーズ（バージョン2023以降）に標準搭載されている機能となります。
- この機能をお使いいただけるのはジャストライン版（正式版）をご利用の方に限ります。

対象キャビネット

- キャビスタ対象となる鉄・ステンレスキャビネットかつ、品名記号のあるキャビネット。※一部対象外あり

ECAD®シリーズ：キャビスタ連携の特長

- キャビスタ連携タブから配置方法を選択できます。



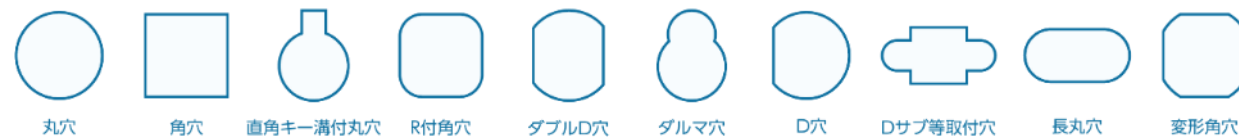
①標準キャビネット配置

基準点やサイズ設定を行いキャビネットを検索、図面に配置します。

②キャビNAVI

事前にN-TECからダウンロードした設計用CADデータを図面に配置します。

- キャビスタ作図時と同じ穴形状種類が選択できます。



ご注意

背面の作図原点がキャビスタとは違うため、加工データ出力時に背面加工穴は水平反転し出力されます。

- キャビスタにアップロードする前に加工判定メニューでチェックできます。

チェック内容	説明
基本図形チェック	直線、円、円弧、多角形、長円により構成されていること
閉じた図形チェック	図形端点間が閉じられていること
対象外穴図形チェック	加工可能な穴形状であること（穴図形作成コマンドで作図できる形状）
重なりチェック	穴図形同士が重なっていないこと
最小穴寸法チェック	各穴パラメータの値が許容範囲であること
最小穴間隔チェック	穴図形同士の間隔が許容範囲であること
加工面チェック	基板以外にタップ穴がないこと、基板に許容されている穴形状であること
加工穴数チェック	各面の加工穴数が許容範囲内であること

- 1画面で複数のキャビネットを扱うことができるため、一度の操作で複数キャビネットの出力が可能です。

ECAD®シリーズの詳細はWEBサイトをご確認ください。

<https://www.ecad-sol.com/topics/20221025-ecad-cabista>

- 1) 穴加工図面データを準備
- 2) キャビスタトップ画面の「ECAD用穴加工機能」をクリック

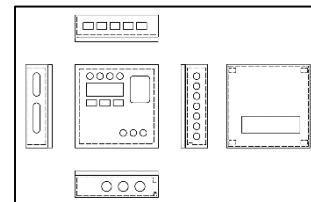


- 3) 注意事項を確認して「承諾」をクリック



- 4) 穴加工図面データファイルをファイル選択またはドラッグ＆ドロップして「アップロード」をクリック

〇〇〇.cbst



- 5) ECAD用穴加工ファイルアップロード画面で「実行」をクリック

- 6) アップロードが完了後、画面が切り替わりますので「次へ」をクリック



- 7) 穴位置、穴寸法が正常に取り込まれた部分がキャビスタ画面に表示されます。内容を確認してキャビスタ作図「次へ進む」をクリック

※塗装変更やオプション選定がある場合、一旦戻って入力

